

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	31
学校名	富山県立伏木高等学校

学校の現状と課題	<p>県内唯一の国際交流科単独校である本校は、国際理解教育(国際理解)とコミュニケーション能力の向上を中長期ビジョンに掲げ、さまざまな取り組みをしてきた。特に、平成25・26年度に「とやまの県立学校人づくり推進事業」の課題推進校に採択され、それ以降グローバル教育を重点課題としてさまざまな事業を行ってきた。アクションプランにおいても「国際交流活動の推進」を重点課題の一つとしてあげ、一定の成果をあげている。</p> <p>課題としては、本校の大きな特色である英語SET(Short English Time)プログラムと第2外国語の学習により、多様な言語で日常的な会話ができる語学力を身につけさせるため、学習シラバスの作成と短期・中期の具体的な達成目標を明確にした指導が必要である。また、環日本海諸国(中国、韓国、ロシア)の高校生との相互交流は、互いの理解を深めるだけでなく、本校の生徒にとっては、自らの生き方やあり方を考える貴重な機会となっており、学習の大きな成果・自信になっている。しかし、今日の情勢から、それに代わる新たな学習プログラムの工夫や開発が必要である。これまでの成果物を十分に活用するとともに、生徒が活動に自主的に関わる場を増やしていきたい。</p>	
テーマ(特色)	世界で活躍するグローバル人材の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	<p>中長期ビジョンの実現や課題解決のため、日本人(伏木高校生)としてのアイデンティティーを持ちながら、異文化理解とコミュニケーション能力、協調性、創造性や社会貢献の意識を高めることが大切であると考え、テーマを設定した。</p> <p>本校では、これらを実現するため</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 語学力及びコミュニケーション能力の向上 2 環日本海諸国(中国、韓国、ロシア)の高校生との相互交流等を通じた国際理解教育 3 地域の関係団体等と連携した諸活動を推進することが必要であると考えた。 <p>なお、今日の情勢から、海外語学研修は再開される見通しが立たず、それに代わる新たな学習プログラムの工夫を考えている。</p>	
実施内容 (具体的に記入する)	<ul style="list-style-type: none"> ・SETテキストvol.9を製作し、在校生に配布した。 ・毎朝放送により、英語での日常的な会話が身につくよう「SETプログラム」を実施した。 ・中国・韓国、ロシアからの来校が今年度も中止となり、国際交流会を開催することはできなかった。 ・SETカルタを製作し、SETカルタ大会を実施した。 ・県内在住の外国の方と交流の機会を設け、語学体験活動を行った。 ・学校ホームページの教育方針、校訓、学科の特長などの英語版を公開した。 ・オンライン等による友好校との交流活動を行った。 ・世界の食文化体験を実施した。 	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> ・語学力向上のためのSETプログラムの推進・充実を図ることができた。 ・海外語学研修が今年度も中止となった。生徒に県内在住の外国の方と交流の機会を設け、語学体験活動を実施でき、生徒の国際交流と異文化理解に繋がった。 ・英語対応の学校ホームページを通して友好校との交流活動の一助となった。 ・「TOMODACHI Project」という学習プログラムを企画し、オンライン等による友好校との交流活動を開始できた。 	
対象者(学年・人数など)	1学年・118名、2学年・110名、3学年・112名	
実施実績	4月	年間を通じたSET(Short English Time)プログラムの実施
	5月	
	6月	学校ホームページ上で英語による情報発信の準備を開始
	7月	県内在住の外国の方との交流 友好校とのオンラインでの交流
	8月	学校ホームページ上で英語による情報発信
	9月	
	10月	高岡市国際交流フェスタ展示への参加
	11月	友好校とのオンラインでの交流 友好校とのオンラインでの交流 友好校とのグリーティングカード交換による交流準備
	12月	SETテキストvol.9の製作開始 世界の食文化体験(韓国料理)
	1月	友好校とのグリーティングカード交換による交流 友好校とのオンラインでの交流 世界の食文化体験(中国料理)
	2月	SETテキストvol.9の配布
	3月	